

安全データシート

整理番号 : CA029GJ01

作成日 : 2023/09/07

改訂日 : 2025/3/14

版 : 4

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Xerox iGen4 Press、Xerox iGen150 Press、Xerox iGen 5 150 Press
キャリア

供給者の会社名称、 : 富士フイルムビジネスソリューション株式会社
住所及び電話番号 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3
046-237-1686

供給者のファクシミリ : [e-mail アドレス] dge-fb-msds-admin@fujifilm.com
番号又は e-mail アド
レス

担当部門 : 品質保証部
環境商品安全統括 G

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 電子写真用現像剤

使用上の制限 : 推奨用途以外の使用は推奨しない

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

成分及び濃度又は濃度範囲 : 営業上の秘密に該当する通知対象物質の含有量は、10%刻みの記載とする。(基発 0424 第 2 号に基づく)

化学名又は一般名	含有量 (重量%)	官報公示整理番号	CAS Registry No.
		(化審法/安衛法)	
スチール粉末	100%	-	7439-89-6

処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ジフェニル類 (PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類 (PBDE 類)、フタル酸ビス (2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート (BBP)、ジブチルフタレート (DBP)、およびジイソブチルフタレート (DIBP) を含有しない

Xerox iGen4 Press、Xerox iGen150 Press、Xerox iGen 5 150 Press キャリア

富士フイルムビジネスソリューション(株) CA029GJ01

作成日 : 2023/09/07

改訂日 : 2025/03/14

版 : 4

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼を使って水でよく洗い流す。
- 眼に入った場合 : 15分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 吸入はできるかぎり避ける。大量にこぼした場合は、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
- 環境に対する注意事項 : 下水道や河川への漏出を防ぐ。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 周囲に火種がないことを確認する。
少量の場合はほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布等で拭き取る。大量にこぼした場合は、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

こぼれた製品は電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いると微粒子が掃除機内部に充満し、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがある)

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
 - 技術的対策 : 弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
 - 安全取扱い注意事項 : 火中に絶対に投げない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない
 - 接触回避 : 特になし
- 保管
 - 安全な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気の良いところに、低温で保管する。子供の手の届くところに保管しない。
 - 安全な容器包装材料 : 弊社の容器包装材料を使用すること。

Xerox iGen4 Press、Xerox iGen150 Press、Xerox iGen 5 150 Press キャリア

富士フイルムビジネスソリューション(株) CA029GJ01

作成日 : 2023/09/07

改訂日 : 2025/03/14

版 : 4

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	:	日本産業衛生学会	電子写真用現像剤(第3種粉塵)	8mg/ m ³ (総粉塵)
			酸化鉄(第2種粉塵)	2mg/ m ³ (吸入性粉塵)
				4mg/ m ³ (総粉塵)
				1mg/ m ³ (吸入性粉塵)
	:	ACGIH	粒子状物質(総粉塵/吸入性粉塵)	ACGIHの最新版の許容濃度を参照
管理濃度	:		データなし	
濃度基準値	:	厚生労働省	データなし	
設備対策	:	弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		
保護具	:	弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		
呼吸用保護具	:	弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		
手の保護具	:	弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		
眼、顔面の保護具	:	弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		
皮膚及び身体の保護具	:	弊社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。		

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	:	粉体
色	:	黒色
臭い	:	微かなプラスチック臭
融点/凝固点	:	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	:	適用外
可燃性	:	15項参照
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	:	データなし
引火点	:	適用外
自然発火点	:	発火性なし
分解温度	:	データなし
pH	:	適用外
動粘性率	:	適用外
溶解度	:	不溶(水)
n-オクタノール/水分配係数 (log)	:	適用外
蒸気圧	:	適用外
密度及び/又は相対密度	:	適用外
相対ガス密度	:	データなし

Xerox iGen4 Press、Xerox iGen150 Press、Xerox iGen 5 150 Press キャリア

富士フイルムビジネスイノベーション(株) CA029GJ01

作成日 : 2023/09/07

改訂日 : 2025/03/14

版 : 4

粒子特性 : <12 μ m(トナーとして)
 その他のデータ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 安定
 化学的安全性 : 安定
 危険有害反応可能性 : 可能性なし
 避けるべき条件 : 特になし
 混触危険物質 : 特になし
 危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)

経口→LD50(ラット) : >5000 mg/kg (GHS 区分に該当しない)
 経皮→LD50(ラビット) : >5000 mg/kg (GHS 区分に該当しない)
 吸入→LC50 (ラット) : >5.0 mg/L/4hr(GHS 区分に該当しない)
 皮膚刺激性(ラビット) : 刺激性なし
 皮膚腐食性 : 腐食性なし
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性(ラビット) : データなし
 呼吸器感作性又は皮膚感作性(マウスまたはモルモット) : 皮膚感作性なし
 生殖細胞変異原性 : AMES 試験 陰性
 発がん性 : 構成成分は発がん物質 (文献 1) に該当しない。

生殖毒性 : 生殖毒性及び発生毒性物質 (文献 2) を含有せず。
 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : データなし
 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : データなし
 誤えん有害性 : 対象外
 その他 : データなし

Xerox iGen4 Press、Xerox iGen150 Press、Xerox iGen 5 150 Press キャリア
富士フイルムビジネスソリューション(株) CA029GJ01

作成日 : 2023/09/07
改訂日 : 2025/03/14
版 : 4

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

魚類 96 時間 LL50(ヒメダカ) : データなし
ミジンコ類 48 時間 EL50 (オオミジンコ) : データなし
藻類 72 時間 ErL50(ムレミカヅキモ) : データなし

残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし
他の有害影響 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 :
適切な処理が必要なので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店に渡すこと。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当
海洋汚染物質 : 非該当
MARPOL 73/78 附属書 II 及び
IBC コードによるばら積み輸送され
る液体物質
国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化審法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当

Xerox iGen4 Press、Xerox iGen150 Press、Xerox iGen 5 150 Press キャリア

富士フイルムビジネスイノベーション(株) CA029GJ01

作成日 : 2023/09/07

改訂日 : 2025/03/14

版 : 4

消防法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR
法) : 非該当

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を弊社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number (R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- (文献 1) :
・IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans
(WHO.IARC:国際癌研究機関)
・National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)
・TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)
・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)
・産業衛生学雑誌 (日本産業衛生学会)
- (文献 2) :
・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令 67/548/EEC と 1999/45/EC を改正・廃止、また規則 (EC) No1907/2006 を改正することに関する規則 (EC) No1272/2008 (CLP 規則)
- (文献 3) :
・Pulmonary Response to Toner upon Chronic Inhalation Exposure in Rats
H.Muhle et.al Fundamental and Applied Toxicology 17.280-299(1991)
・Lung Clearance and Retention of Toner, Utilizing a Tracer Technique, during Chronic Inhalation Exposure in Rats
B.Bellmann Fundamental and Applied Toxicology 17.300-313(1991)